

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>(1) 学力向上進学重点校エントリー校、SSH 指定校にふさわしい生徒の学習希望や進学希望に応える教育課程の編成</p> <p>(2) 学習効果を高める ICT を活用した教育の開発と提供</p> <p>(3) SSH 教育の推進及び成果の発信</p> <p>(4) グローバル人材の育成</p>	<p>① 学力向上進学重点校エントリー校、SSH 指定校にふさわしい教育課程の推進</p> <p>② ICT を利活用した効果的な教育方法の組織的な開発研究と実践及び効果の検証</p> <p>③ 探究活動の研究開発や成果発表機会拡大及び国内外の教育機関との教育交流の推進と継続</p> <p>④ 多様な文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、交流の機会を創出し、国際性を培う。また、交流を推進する。</p>	<p>① 各教科および教科横断的な取組による主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた教育課程、Meraki における理数分野を充実させた教育課程を推進する。</p> <p>② 1人1台端末を踏まえ、より多くの場面でICTを利活用することで、コロナ対策に加え、課題の配信・回収、評価への反映などを効率的に行う。</p> <p>③ Meraki・SSH メラポプロジェクトによる高度な理数分野の研究結果の輩出および外部での発表機会の充実を進める。</p> <p>④ 海外の高校との共同研究等への生徒参加を推進し、外国語の運用能力を高めるとともに国際性を育む。</p>	<p>① 思考力・判断力・表現力等の資質・能力を高め、科学技術人材育成に通じる教育課程を推進できたか。</p> <p>② 教科間、教員間での助言や情報共有が積極的に行われたか。ICT 活用指導力に関する教員アンケート結果が良好であったか。</p> <p>③ 探究活動機会が増加し理数分野の研究結果が高度化されたか。研究成果の充実に伴い外部発表出場機会を拡大できたか。</p> <p>④ 共同研究の取組を進展できたか。国際性の取組により、外国語の運用能力や研究を通じて海外の人々と交流する姿勢を高められたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>(1) 自他を尊重し、多様性を認める社会を担う自立した人材育成</p> <p>(2) 文武両道の堅持</p> <p>(3) 行事、部活動と学習面の高度な両立を目指す生徒のバランスの取れた学校生活の支援体制の充実と関係機関との連携</p>	<p>① 生徒一人ひとりが、自他を敬愛し、礼儀を重んじ、自由と責任を弁えた行動をとれる姿勢や態度を育てる。</p> <p>② 学力向上進学重点校エントリー校における学びと行事や部活動等を両立し得る自律力の育成を図る。</p> <p>③ 校内の教育支援体制強化、支援力向上と共に、外部機関と連携する。</p>	<p>① 学年・全校集会等を通じ、マナーや社会性、自他を敬愛する姿勢・態度を育む。</p> <p>② 生徒の主体性を尊重し、部活動・行事の計画を立て、課題解決できるよう指導する。</p> <p>③ 教育相談機能を活用した支援や心身共に健康的な学校生活が実現できるようにする。支援力を高めるための職員研修の実施</p>	<p>① 生徒が責任ある行動を取り、地域からの苦情が減少したか。</p> <p>② 計画通り円滑な学校行事・部活動等が行えたか。また、生徒活動内容満足度が8割以上か。</p> <p>③ 校内関係者や外部機関と緊密に連携を取り、組織的に問題に取り組む、早期に対応することができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>(1) 学力向上進学重点校エントリー校としての難関大学、スーパーグローバル大学等への進学に向けた組織的な進路支援体制</p>	<p>① 正確でタイムリーな情報提供及び3年間の成長過程に合わせた多様なキャリア教育の構築と推進。</p> <p>① 既存の取組に</p>	<p>① 模試や進路希望調査の結果など生徒の学習状況や、最新の入試情報を生徒及び全職員に周知し、組織的な進路指導・支援体制を構築する。</p> <p>① 高大接続に係るイ</p>	<p>① 各模試の結果分析や進路希望調査の結果分析を生徒及び全職員に周知できたか。</p> <p>① 最新の入試情報を提供し、担任や学年の職員の進路指導を支援できたか。</p>

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
	の構築と推進 (2) 高い次元での自己実現を目指す生徒の学びに向かう力・キャリア能力を高めるガイダンスの充実と学習環境の整備	おける科学的、論理的な思考力、グローバルな視点の獲得への観点・取組の強化。 ①教員一人ひとりの進路指導力を高める研修等の充実と指導実践の引継ぎ ②セルフガイダンス力を高める機会の提供や環境の充実。	イベントやインターンシップなどへの参加を促し、生徒のキャリアデザインを支援する。 ②進路集会や進路通信及びキャリア行事を通して、これからの社会で求められる人間像を示しながら、生徒の学際的な興味・関心を喚起する。 ②SSRや自習スペースなどの学習環境を整備する。 ②講習等の内容の充実、及び部活動との調整など、環境整備を図る。	②生徒の視野や進路選択の幅を広げるキャリア行事を実施できたか。また、高大接続イベントやインターンシップの参加生徒は増加したか。 ②生徒の求めに応じた進路情報及び生徒の知的好奇心を引き出す幅広い知見を紹介できたか。 ②SSR、自習スペースの学習環境は整っているか。 ②夏期講習・土曜講習の受講者数及び受講者のアンケート等からより良い講座を設定できたか。
4 地域等との協働	(1) 外部人材の活用やSSHの取組成果等の小中学校等への発信と提供 (2) ホームページによる教育活動、教育成果の発信をはじめとする広報活動の充実 (3) 本校教育活動のネットワークの拡大	①生徒による小中学校等への教育提供や外部機関との連携の場の創出 ②ホームページの充実と、迅速で適切な情報提供のための体制整備と人材育成 ③地域や同窓会、PTA等の組織と連携した安全教育・防災教育等の推進 ③学校運営協議会の評価の活用	①生徒探究活動やキャリア教育を支援する企業や人材の開発を進める。成果発表会や学校説明会等を通じて地域の小・中学生に情報を発信するとともに、科学に興味を持てるような事業を行う。 ②ホームページを用いて教育活動や学校行事などを速やかに外部発信する。 ③感染症等の状況を踏まえたうえで、内容を整理し、地元自治会やPTAと連携し防災訓練等を実施する。	①教育活動を支援する人材や企業を開拓できたか。企画毎にアンケートを実施し、概ね満足との評価を得ることができたか。 ②毎月新たな情報をホームページに発信することができたか。 ③地元自治会やPTAと連携し防災訓練等を実施できたか。
5 学校管理 学校運営	(1) 企画会議の機能の拡大による職員の経営参画意識の向上と人材育成 (2) 教員が教育に係る時間を確保する働き方改革の推進 (3) 計画的・効率的で適正な予算執行と学校環境の整備 (4) 事故不祥事防止の徹底	①企画会議と各組織・職員との双方向情報共有を深め、全職員の学校経営参画意識を高める。 ②ICTの利活用をはじめ業務の効率化・スリム化を図り、「働き方改革」を推進する。 ③工事に伴う教育活動及び安全確保を図る。 ④事故防止会議や研修を計画的効果的に行う。	①職員会議等で常に情報共有し、適切な人材配置や業務分担を行い、参画意識の向上を図る。 ②企画会議、衛生委員会を中心にICTも活用しながら働き方改革を推進する。 ③校内整備工事に係る生徒の安全対策を業者とも協議し、実践する。 ④研修会実施、刊行物の配付、職員間の相互チェックを行い、事故不祥事の未然防止に努める。	①グループ、学年、教科等の連携を図り、学校教育活動の活性化と課題解決に繋がったか。 ②業務精選、効率化が行われたか。 ③工事期間中に事故なく、効果的に教育活動を継続することができたか。 ④事故不祥事ゼロを徹底することができたか。